

効果① 交通分散による生活道路の安全性向上

側道が開通することで、周辺道路における交通が分散し、生活道路などの安全性の向上が期待されます。

効果② 自転車歩行者道の整備による安全性の確保

自転車歩行者道の整備により、安全・安心な自転車、歩行者空間が確保されます。

効果③ 鉄道との立体交差による交通円滑化と安全性の確保

鉄道との立体交差により、列車の通過待ち時間が解消されると共に、安全性も確保されます。

効果①

(現状と開通後)



生活道路における離合が困難 (県道鮎喰新浜線)



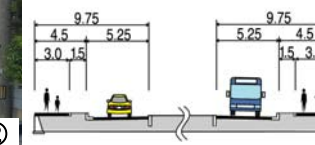
交通分散による生活道路の安全性向上が期待されます。

効果②

(現状と開通後)



自転車、歩行者と自動車の接触が懸念 (県道鮎喰新浜線)



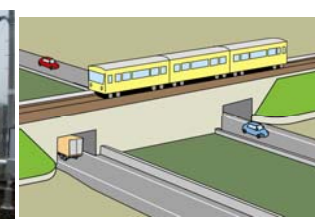
徳島南環状道路の側道に自転車歩行者道を整備します。

効果③

(現状と開通後)



踏切事故が懸念 (県道鮎喰新浜線)



徳島南環状道路の側道は鉄道と立体交差します。

